

事例間の距離に応じた重要度の付与による ノイズ耐性を考慮したブースティング手法

藤田 慎二郎、亀井 清華、藤田 聡（広島大学）

① 研究背景

AdaBoostは学習の難しい事例に対して大きな重みを与えることで効率的に学習する

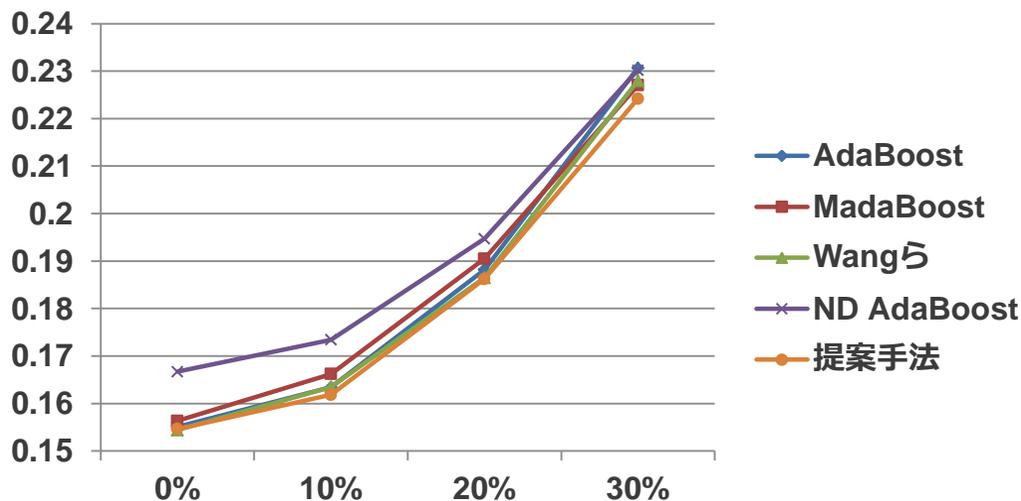
訓練事例中に**ノイズ**（外れ値やミスラベル）があると重みが集中し過学習を起こしやすい



AdaBoostに対して**ノイズ耐性**をつけたい

③ 実験結果

弱分類器として決定木を使用



② 提案手法

ノイズかどうか判定したい事例から**一定範囲内**の各事例について、その事例の**ラベル**と注目している事例からの概念空間上の**距離**を用いることでノイズ判定を行う

